

自己評価シート【上松技術専門学校】

評価対象年度: 令和7年度

評価区分	評価項目	【木工科】			【木材造形科】			評価項目の説明 【算出方法】	評価基準
		評価	区分評価	コメント	コメント	評価	区分評価		
①応募・入校 (令和8年度生)	応募倍率	◎	◎	応募倍率 1.75 （応募者 35人/定員20人） ・フラッシュ加工や据付家具に興味のある者が応募 ・第1希望にする者は木材造形科に比べて少ない ・応募者は、男性29人、女性6人	応募倍率 1.90 （応募者 38人/定員20人） ・ろくろ、漆を希望する者や無垢材の加工を希望する者が応募 ・木材造形科を第1希望にする者が多い傾向 ・応募者は、男性26人、女性12人	◎	◎	別紙参照	
	定員充足率	◎		入校者割合 100% （入校者 20人/定員20人） ・女性の入校者が平均して20%程度 令和8年度 30%(6人)	入校者割合 100% （入校者 20人/定員20人） ・女性の入校者が平均して30%～50%と多くなっている 令和8年度 40%(8人)	◎			
②訓 練 (令和7年度生)	中途退校率	○	○	中途退校率 15% （中途退校者 3人） ・訓練生の技能習得の希望にも考慮しながら進めたため、退校希望者はほぼいない。 （うち就業による中途退校者 2人）	中途退校率 0% （中途退校者 0人）	◎	◎		
	技能照査合格率	◎		合格 100.0% （合格者17人/受検者 17人） ・本校が重点的に指導している手加工が技能照査の実技試験 ・機械加工の訓練開始後も、随時手加工の課題を取り入れ ・訓練時間中に実技試験のための練習時間を確保	合格 100.0% （合格者20人/受検者20人）	◎			
③就 職 (令和7年度生)	就職率	◎	◎	就職率 100.0% （就職者17人/修了者17人） ・県内外から校宛に求人あり(関東～九州) ・校宛求人数が訓練生数より多く、選択の幅が広いため、よりよい就職先を探す傾向 ・就職時期にこだわらず、修了後も適職を探す者あり	就職率 85.0% （就職者17人/修了者20人）	○	○		
	求人倍率	◎		求人倍率 1.33 （求人数 53社/定員40人） ・校宛の求人は全体で53社(うち県内事業者22社、さらにうち郡内1社)。 ・校宛の求人以外もInstagramや指導員等への依頼もあり、求人情報は多い。		◎			
総合評価			A	無垢材の加工ではほぞ組みの椅子の製作を取り入れるなど、木工科の特徴あるカリキュラム作りに向け、訓練内容の見直しを進めている。	小物製作のほか、框組や座ぐりなどを取り入れ、大型家具の製作も可能とするなど、修了生の自立につながるカリキュラム作りに向け、訓練内容の見直しを進めている。		A		

【参考指標】

評価区分	評価項目	評価	コメント	コメント	評価	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準
訓 練	在校生の満足度 (令和7年度生)	◎	満足度指数 92.5 〔満足 10人 ほぼ満足 6人 どちらともいえない 0人 無回答 1人〕	満足度指数 86.0 〔満足 9人 ほぼ満足 9人 どちらともいえない 2人 無回答 0人〕	○		別紙参照
	定着率 (令和5年度生)	△	定着率 75.0 % 関連企業就業者6人/(修了時間関連企業就業者8人ー未確認者等0人) ・個の技能習得に対する思いが強い修了生は、就職前後の就業先イメージの違い等により雇用側の要求と合わず、短期間で転職する者が多い。	定着率 50.0% 関連企業就業者4人/(修了時間関連企業就業者10人ー未確認者等2人)	×		

自己評価シート【評価項目の説明】

長野県上松技術専門学校

評価区分	評価項目	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準	評価	区分 評価	コメント
①応募・入校 (令和6年度生)	応募倍率	・定員に対する応募者の倍率 【応募者数／定員】 (注) ・複数回受験した受験生については、重複して数える。 ・第2志望がある場合は、第2志望は考慮しない。	◎:1倍超 ○:0.8倍以上 △:0.5倍以上 ×:0.5倍未満			
	定員充足率	・定員に対する入校者の割合 【入校者数／定員×100】	◎:100% ○:80%以上 △:50%以上 ×:50%未満			
②訓練 (令和5年度生)	中途退校率	・訓練期間中に退校した者の割合 【{(中途退校者数-就職による中途退校者数)／(入校者数又は在校生数-就職による中途退校者数)}×100】 (注) ・就職による中途退校者数を加味する。	◎:10%未満 ○:20%未満 △:30%未満 ×:30%以上			
	技能照査合格率	・技能照査の合格率 【合格者数／受検者数×100】	◎:90%以上 ○:80%以上 △:70%以上 ×:70%未満			
③就職 (令和5年度生)	就職率	・就職者数の割合 【{(就職者数+就職中退者数)／(修了者数-進学者数+就職中退校者数)}×100】 (注) ・就職による中退者含む。	◎:90%以上 ○:80%以上 △:70%以上 ×:70%未満			
	求人倍率	・求人倍率 【企業の訓練科への求人数／定員】	◎:1倍以上 ○:0.8倍以上 △:0.5倍以上 ×:0.5倍未満			
総合評価		・上記の評価項目の評価基準による結果を踏まえ3段階(A～C)で区分 ・A:良好 ・B:一部改善を要する。 ・C:総合的な見直しを要する。	・「△」と「×」の数で評価 ・①応募・入校②訓練③就職の3区分で評価 ・各区分の項目の悪い方で評価 ・Aの条件 (条件1)「△」が1つ以下で「×」がない場合 ・Bの条件 (条件1)A、C以外の場合 ・Cの条件 (条件1)「×」が2つ以上 (条件2)「×」が1つで「△」が1つ以上 (条件3)「△」が3つの場合			

【参考指標】

評価区分	評価項目	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準	評価	コメント
訓練	在校生の満足度	・在校生1人1人の満足度指数から平均を算出 ・満足度指数は以下のとおりとする。 (在校生アンケート問3(1)より算出→満足:100、ほぼ満足:80、どちらでもない:50、やや不満:20、不満:0) 【1人1人の満足度指数の総和／回答が得られた調査数】 (注) ・在校生に対してアンケートを実施	◎:90以上 ○:80以上 △:70以上 ×:70未満		
	定着率	・訓練科に関連した企業等に就職した者の3年後の定着率(訓練科に関連した企業等に転職している者を含む) 【{(3年目において訓練科に関連した企業等に就業中である者の数／修了時、訓練科に関連した企業等に就職した修了生数)×100】 (注) ・確認できなかった修了生については分母から除く。	◎:90%以上 ○:80%以上 △:70%以上 ×:70%未満		